

競技上・審判上の注意（本選）

本大会は、現行の（公財）日本バドミントン協会競技規則、大会運営規程並びに公認審判員規定に則って行います。

1. 試合について

（1）2月23日（金）を女子、2月24日（土）を男子の試合を行います。

（2）各種目1回戦、2回戦を15点3ゲーム延長最大21点までとします。3回戦から決勝戦を21点3ゲーム延長最大30点までとします。

2. IDカードについて

本選ではIDカードは受付で監督・コーチ・マネージャーに配布します。帰る際は本部席まで返却をお願いします。

3. 服装について

（1）監督・コーチ・マネージャー 公認審判員規定第3条第5項（6）②に定められているとおりの服装で試合に臨んでください。ふさわしくない服装でベンチやコーチ席に入っていた場合は、着替えや退場をお願いする場合があります。

（2）選手（公財）日本バドミントン協会の検定合格品であるユニフォーム、アンダーギアを着用してください。背面には学校名と選手名が明記されたゼッケンを4点でつけてください。試合開始前は、シャツをパンツまたはスコートの中に必ずしまってください。

4. ベンチについて

（1）選手がエンドを替える時はベンチも一緒に交代して下さい。椅子を移動する必要はありません。

（2）サイドコーチができるのは一度に2名までです。

5. 試合前の練習について

（1）選手はすぐに試合ができる服装（ユニフォーム・ゼッケン）でコートには行ってください。

（2）~~本選は対戦相手と練習してください。対戦相手が不在の時は本部までご連絡ください。~~

本選はブロックごとの練習になります。（1～6名1面・7～12名2面・13～18名3面）

（3）試合直前練習は出来ません。

6. 審判について

（1）本選は、原則として**敗者主審**、ベスト16決めまで**勝者線審**1名と係生徒1名で行います。得点係は係生徒をお願いします。ベスト16以降は係生徒で行います。

（2）線審席は対角線に設置します。

（3）困った場合や疑問な点・不明な点が出た場合は、勝手に判断せずレフェリーを呼び、指示を仰いでください。

（4）主審は試合終了後、スコアシートをもって、本部まで来てください。

7. (公財) 日本バドミントン協会競技規則 第16条について
 - (1) プレーの継続、不品行や不愉快な振る舞いに対して厳正に対処します。 <第7項の履行(1 警告) → (2 フォルト) → (3 限界を超えた場合は失格) >
 - (2) 2項により、第1ゲームと第2ゲームの間・第2ゲームと第3ゲームの間に、60秒を超えないインターバルを認めます。インターバルの終了20秒前にはコートに入ってください。第3ゲームのチェンジエンズにインターバルはもうけません。
 - (3) 試合中の水分補給は認めます。汗拭きなどを許可された時等に速やかに行ってください。
8. 試合間のインターバルについて
各種目とも、試合が連続する場合は、最低10分間のインターバルをとります。
9. 試合中のサイドコーチ(助言)について
 - (1) インターバル時(各ゲーム間)一度に2名まで(監督・コーチ・マネージャー・他選手を含む)が選手のいるエンドに行くことができ、サイドコーチを認めます。ただし、選手をベンチに呼んだり、線審等をしている者がサイドコーチをすることはできません。
 - (2) 試合中、選手・コーチ・チーム関係者は、iPad・携帯電話等のモバイル機器を使用してアドバイスやサイドコーチをすることは認めません。
 - (3) インプレー(ラリー中)以外ゲームの遅延や相手の選手等を批判するような内容にならないようにして下さい。各選手は、サイドコーチに対しても速やかに次のプレーに入るようにして下さい。
10. コートサイドのかごについて
 - (1) コートサイドにはかごやドリンクケースは設置しません。バッグ等を持参し、コートサイド所定の場所に置き、ドリンクもスクイズボトルなど、倒れてもこぼれない容器で各自のバッグに収容してください。ペットボトルは禁止です。
 - (2) 交換用のラケットは必ず用意してください。ガットが切れた状態のラケットで試合をすることは認められません。また、ラケットを取りにコートを離れることも認められません。